

2022～2024  
セントラルグループ 3か年経営方針発表会



経営方針発表会で挨拶する  
阿部 護 副社長

続いての経営方針発表会では、社長、副社長から三年後のあるべき姿がビジョンとして示され、その「理想とする絵」に向かって挑む大切さが語られたのち、いつまでもどんな手法で何を為すべきかの道筋に沿った各社、各部署の指針が発表されました。

致命的です。弊社としても積極的に取り組まなければならぬ重要な課題であると思いを共有出来たと思えます。



ROBOZ 石田宏樹社長

ドローンと共に描く  
10年後の未来

去る、7月8日。取引先協力業者を交えセントラルグループの安全衛生大会、および経営方針発表会が恵那文化センター大ホールで執り行われました。安全大会での基調講演は、ドローン業界のトップランナーである株式会社ROBOZの石田宏樹社長に「ドローンと共に描く10年後の世界」のテーマで実演を交えて語って頂きました。今後、ドローンによって仕事のあり方が激変するに違いないと確信するに至りました。ドローンがもたらす変化に乗り遅れることは致しません。

## 安全大会および経営方針発表会



メゾンドゥジャルダンにて懇親会

「時代と社会から選ばれ、セントラルグループへ」という3か年テーマのもと、より地域に貢献し得る企業でありたいと言う決意を新たにしました。

## せんとらるライナー 食堂車



ランチメニュー

## 和子食堂

ご主人の田口卓男さんは、地元の高校を卒業すると、名古屋の大手飲食業で修業を積んだ。しかし、よりお客さんの近くで仕事をしたいと思うようになり、小さな店に転職した。実力を付けた田口さんは、店長に抜擢される。しかし、店長になると、マネジメントの仕事が多くなり、

次第にお客さんとの距離が遠くなるのに寂しさを感じるようになった。40歳になった時、今が節目と想い、お客さんの近くで仕事をするとこの夢を実現するために、名古屋市内で独立を果たした。それから8年後の平成30年、母親の体調に異変が見られたときに、二人の姉の勧めもあって実家に戻り、和子食堂を開業した。

田口さんの想い描く理想のお店のあり方は、昔と変わることなくお客さんとの近さにある。家庭的で素朴なお店であり続けることが、和子食堂の一番のこだわりである。ハンバーグやカツなどのメイン料理よりも、脇役の煮豆やきんぴら等、心を込めたおぼんざいを美味しいとほめて頂ける事がなにより嬉しいという。そして、地産地消にもこだわる。自家菜園で朝採りした野菜や畑をしている仲間が持ち寄った素材でつくる料理を囲んで、お客様と一緒に談笑しながら、和やかに飲んで食べられるお店づくりを心掛けているそうだ。



店内カウンター

そして、もう一つ。和子食堂は、当地では稀な「速達生」の公式認定を有している。「速達生」とは、通常メーカーから出荷され飲食店に届くまで2週間ほどかかっていたビール樽を2日以内に配達するシステムのこと、鮮度にとことん拘った生ビールが楽しめる店のことである。また、ビールサーバーの洗浄の仕方、グラスの洗い方、ビールの注ぎ方等にも徹底し、KIRINより「おいしい一番搾り提供店」として認定を受けている。

仲の良い三姉弟が醸し出す柔らかな雰囲気、そして、地元の食材からなる素朴な味に近代的なシステムが融合する、和子食堂。きっと、あなたもファンになるに違いない。

営業時間

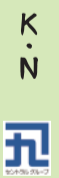
昼の営業	11:30～14:00
月・火・水のみ	(ラストオーダー13:30)
夜の営業	17:00～21:00
<<日～水>>	(ラストオーダー20:30)
<<金・土>>	17:00～22:00
定休日:木曜日	(ラストオーダー21:30)

## 快適トイレに改修

先日、中津川市内で介護保険を利用した改修工事を拝命し、無事竣工致しました。中津川市のM様邸は寝室からトイレへの導線を短く、また車いすでも利用可能な洗面化粧台に変更したいというご要望がありました。そこで、寝室の納戸と隣接する廊下の一部を改装し、洋式トイレに車いす用のドゥケアカウンター(LIXIL製)という商品を採用させて頂き、広めの空間となる様ご提案させて頂きました。またご家族の方が介助しやすいように跳ね上げ式の手すりを取り付けさせて頂きました。



で今、ダックスフントとヨークシャテリアのMIXの女の子が、頑固爺さん・我儘看護師・独り身ケアマネと一緒に暮らしてくれている。人には決して好印象を持たれない私の後をずっと付いてくる。どんなに不快なことがあっても、一日の終りに彼女が私をとりかえさせてくれる。



K・N

## Kaneku コーポレーション

の、十一月十日のことだ。さて、彼亡き後、九十歳過ぎの頑固爺さんと我儘看護師との三人だけの生活となる。…あり得ない!! 彼と巡り合った時と同様、「ワンコの里親探し」のサイトをひたすら検索した。ご存知の方もおられるだろうが、保護犬の譲渡を受けるといのは、条件が大変厳しく容易ではない。…で、我が家の最大の欠点は、「高齢者がいる」ということだ。「万が一逃がしてしまった場合、ご両親では追いかけて捕まえることが出来ませんよね?」それが

## LifeCare ライフケア

「ポンコツケアマネ、今日も行く」  
昨年夏号に載せた、記者が経験した「年老いた柴犬の介護」についてのその後の話である。立つことが出来なくなり、犬用の車いすをレンタルした。間もなく寝たきりとなり、エアマットに寝かせ食介やオムツ交換、体位変換をするまでとなった。有料老犬ホームと契約もした。そしてある朝、私が出勤直前に声を掛け撫でてやると、大きな息を三つして旅立っていった。あの記事掲載から五か月後の



愛犬「さといも」

譲渡を受けられない理由。言わせて貰えば、高齢者でなくとも犬に追い付くことは私にも不可能だ。1か月ほど検索し続けたところ、意外と近く、県内関市に譲って貰えそうな施設があり、早速連絡を取った。まずは譲渡会に参加し、お見合いをする。飼い主側が条件をクリアすると、後日、施設スタッフさんがワンコを連れて家庭訪問し、脱走防止の柵やケージの確認をする。それもクリアできると、1週間のお試し期間に入る。実は、お話し期間中に一回脱走され、肝を冷やした。傷だらけになりながら藪の中を一時間程探し回り、とにかく施設に連絡しようと思えば戻ったところ、お話し中のワンコが、呑気にカッカカッと後ろ足で耳を掻いていた。ほっ…。そんなわけ

### 企業理念の意味するところ

わが社の思想、進むべき方向性。そして、当社において「正しい考え方」とは何であるのか。それらを簡潔に要約したのが、右の企業理念です。我々セントラルグループ全社員は、この企業理念に価値観を共有し、結束し、地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手と成るべく進化を続けて行く所存です。

- 社訓
- 一、人・姿勢・心の基本は 挨拶にあると知れ
  - 一、礼儀を正し、 前向きで素直たれ
  - 一、信用を第一とし、 知恵と工夫と努力で 利益を追求せよ
  - 一、反省し改善し進化せよ
- 綱領
- 我々、セントラルグループ全社員は、 企業理念の根幹たる 人・姿勢・心を研ぎ、 社業の繁栄を築き、 地域の安全で快適な生活基盤を 創造する担い手として、 社会に貢献することを使命とする。

## 企業理念

社は 企業は人なり 人は姿勢なり 姿勢は心なり